附　則

この省令は、令和三年三月三十一日から施行する。

備考　表中の［　］の記載及び二重傍線を付した標記部分を除く全体に付した傍線は注記である。

［別記様式第二号～第四号　略］

別記様式第五号（第十三条関係）

指　定　申　請　書

法務大臣　殿

氏名	（原　語）	写真（４cm×３cm）申請前６箇月以内に撮影したものであること。
	（ローマ字）	
	（カタカナ）	
性別	□　男 □　女	
国籍		生年月日　年　月　日　出生地
住所	（原　語） （ローマ字） （カタカナ）	収入印紙　消印しないこと。
原資格国		特定外国法
申請区分	□　法第１６条第１項第１号による指定の申請 □　法第１６条第１項第２号による指定の申請	において効力を有し、又は有した法

私は、上記の特定外国法について、外国弁護士による法律事務の取扱いに関する特別措置法第１６条第１項の規定による指定を受けたいので、同法施行規則に定める書類を添えて申請します。なお、添える書類の写しは、原本と相違ありません。

年　月　日

（記　名）

担当官

備考　１　指示のない欄は、日本語で記載すること。
２　署名は、指定申請書提出の際、担当官の面前で行うこと。
３　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ列４番とすること。

別記様式第一号（第三条関係）

承　認　申　請　書

法務大臣　殿

氏名	（原　語）	写真（４cm×３cm）申請前６箇月以内に撮影したものであること。
	（ローマ字）	
	（カタカナ）	
性別	□　男 □　女	
国籍		生年月日　年　月　日　出生地
住所	（原　語） （ローマ字） （カタカナ）	収入印紙　消印しないこと。
外国弁護士となる資格	資格を取得した外国の国名	外国弁護士の名称（原　語）（ローマ字）（カタカナ）
	資格を取得した年月日　年　月　日	

私は、上記の外国弁護士となる資格を基礎として、外国弁護士による法律事務の取扱いに関する特別措置法第７条の規定による承認を受けたいので、同法施行規則に定める書類を添えて申請します。なお、添える書類の写しは、原本と相違ありません。

年　月　日

（記　名）

担当官

備考　１　指示のない欄は、日本語で記載すること。
２　署名は、承認申請書提出の際、担当官の面前で行うこと。
３　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ列４番とすること。

［別記様式第二号～第四号　同上］

別記様式第五号（第十三条関係）

指　定　申　請　書

法務大臣　殿

氏名	（原　語）	写真（４cm×３cm）申請前６箇月以内に撮影したものであること。
	（ローマ字）	
	（カタカナ）	
性別	□　男 □　女	
国籍		生年月日　年　月　日　出生地
住所	（原　語） （ローマ字） （カタカナ）	収入印紙　消印しないこと。
原資格国		特定外国法
申請区分	□　法第１６条第１項第１号による指定の申請 □　法第１６条第１項第２号による指定の申請	において効力を有し、又は有した法

私は、上記の特定外国法について、外国弁護士による法律事務の取扱いに関する特別措置法第１６条第１項の規定による指定を受けたいので、同法施行規則に定める書類を添えて申請します。

年　月　日

（署　名）

担当官

備考　１　指示のない欄は、日本語で記載すること。
２　署名は、指定申請書提出の際、担当官の面前で行うこと。
３　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ列４番とすること。

別記様式第一号（第三条関係）

承　認　申　請　書

法務大臣　殿

氏名	（原　語）	写真（４cm×３cm）申請前６箇月以内に撮影したものであること。
	（ローマ字）	
	（カタカナ）	
性別	□　男 □　女	
国籍		生年月日　年　月　日　出生地
住所	（原　語） （ローマ字） （カタカナ）	収入印紙　消印しないこと。
外国弁護士となる資格	資格を取得した外国の国名	外国弁護士の名称（原　語）（ローマ字）（カタカナ）
	資格を取得した年月日　年　月　日	

私は、上記の外国弁護士となる資格を基礎として、外国弁護士による法律事務の取扱いに関する特別措置法第７条の規定による承認を受けたいので、同法施行規則に定める書類を添えて申請します。

年　月　日

（署　名）

担当官

備考　１　指示のない欄は、日本語で記載すること。
２　署名は、承認申請書提出の際、担当官の面前で行うこと。
３　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ列４番とすること。